

母から受け継いだ家庭料理でおもてなしをする松尾さん(写真中央)



クチコミで評判 自宅で開いたお店

誰もが一度は持たいと憧れる自分のお店。自分のセンスで思い通りの店を出したい、今、そんな夢を自宅でかなえた「自宅ショップ」が増えてきています。

そんな中、町内にも話題の自宅ショップがあるという情報をキャッチ。

今回は、あまり宣伝もせずクチコミで広まった、自宅で開いた人気のお店を紹介しします。

いながわ 特派員報告



松永 ひさみ



久保田 由美

夢の実現

住宅街などで、一見普通の家に見かけが良かったり、改造して、または自宅の一部をそのまま使ってお店にします。

オーナーには、自分の趣味や特技を生かして人生を豊かにしたいと願う主婦や退職した夫婦が多いようです。

お店は、自分を表現した、こだわりと個性にあふれています。それは、得意の料理の腕をふるったお食事処だったり、持っている資格を生かしたお店だったり、自分の手作り品を置いた雑貨屋だったり、さまざまです。

自宅ショップは、都合のいい日や時間に営業し、自分のペースで経営できるのもオーナーにとつて魅力のひとつ。クチコミで客が増えていくパターンが多く、一度来た客が次は友人を連れて来るなど、同じ趣味や興味を持つ人達の交流の場になることもあります。

住宅街のオアシス まつ尾

766 - 6199 (若葉)

定年を迎えた松尾常光子さんが、地域の皆さんに喜んでもらえることがしたいと、昨年4月に始めた「まつ尾」。

平日の午前11時～午後3時までの営業ですが、お客さんの要望に応じて時間外の予約も受けています。接客で忙しい常光子さんを陰で支えるのは、ご主人の盛隆さん。後片付けや雑用も進んで手伝います。「夫婦円満の秘訣は、店をすることかもしれません。お客さんが来られるので喧嘩できないですよ」と、お二人は楽しそうに話されます。

この日は、常光子さんが代表を務めるよさこい同好会の宴会が行われ、店は明るい笑い声に包まれていました。揃って賑やかなのが大好きと言うお二人は、終始笑顔でした。

おしゃれなガーデニングショップ

マリモ ガーデン アリュメ-ル
marimo garden(allumer)
766 - 7778 (つつじが丘)

庭に並ぶさまざまな花の苗。中谷まきさん宅のテラスの奥には、アンティーク雑貨や、珍しい観葉植物を並べた小屋があります。

昨年9月から中谷さんは、毎週火・木曜日に花と雑貨の店を開き、寄せ植えなどの講習会も行っています。以前、花屋に勤めていた中谷さんは、植物に関する知識や技術を学び、グリーンアドバイザーの資格を取得。2年前からは、車の荷台に花や雑貨を乗せた移動ショップ「marimo号」で、京都や滋賀など遠方のイベントにも飛び回っています。「地域の人のコミュニケーションの場になりたいと始めました。通りを歩く知らない人にも声を掛けられるようになり、嬉しく思います」と中谷さんは微笑みます。

最近、店のホームページを見て、遠方からもお客さんが訪れます。



素敵な雑貨がいっぱい

おばちゃんの手打ちうどんのお店

峠茶屋 769 - 0006 (杉生)

上野敏子さんと森田みよさんが、うどんの打ち方を学び「峠茶屋」を開いたのは6年前。こだわりは、讃岐から取り寄せたうどん粉と生醤油。お客さんが来てから麺をゆで、土曜日には炊き込みごはん、日曜日にはちらし寿司がメニューに加わります。営業は土・日曜日と祝日の午前10時～午後4時。

開店当時はお客さんが来ると逃げ出したくなったというお二人ですが、今では「お客さんと話をするのが楽しみです。お店で体を動かし、お客さんに接することが私達の元気の秘訣かもしれません」と、楽しそうに話されました。

ゆでたての手打ちうどんはおいしいですよ



絶景をながめながら

眺望亭 769 - 0024 (西畑)

訪れた知人が、店の前に広がる愛宕山の素晴らしい景色を見て名付けた「眺望亭」。昨年3月にオープンした、息子の日野上浩史さんが営み、ご両親の寅治・清恵さんご夫妻が手伝う喫茶店です。

移り住んで6年。ご夫妻は段々畑だった約600坪の敷地を、3年がかりで整備し、ログハウスを造りました。ここを地域の人に開放したいと始めた店では、庭に実る柚子から作った柚子茶や手作りケーキなどが味わえます。また、パーベキュー場やガーデン喫茶、ご夫妻の趣味の木根工房や着物アート工房なども造られ、見学もできます。「ここを使って今後はいろんなことができないかと考えています」とご夫妻は語られます。毎週月曜日が定休日。料理も予約できます。「ここを使って今後はいろいろ



素晴らしい景色を見てください

ワンちゃん達のお気に入り ドッグビューティーサロン

766 - 5538 (伏見台)

近藤礼子さんがトリマーとしてのキャリアを生かして開いた「ドッグビューティーサロン」。看板は出していないにもかかわらず、クチコミで広がり、遠方からもお客さんが訪ねてくるようになりました。

取材の日、近藤さんの所にまっしぐらにかけて来たワンちゃん。いつもカットや爪切りをしてくれる近藤さんに、ひとしきり甘えていました。お客さんは「近所だと連れて行きやすいし、よくなつていて、安心して預けられます」と、話していました。近藤さんは、「犬を美容院に連れて行き、他人の手にゆだねるのもしつけになります。生活上のアドバイスをすることもあります」と、大好きな犬と触れ合う仕事を楽しんでいました。



全身のチェックもしますよ

山里のやすらぎの家 茶房 みやもと

090 - 2282 - 7884 (杉生)

宮本一雄・肇代さんご夫妻が営む「茶房みやもと」。もとはご夫妻のセカンドハウスでしたが、山里の趣とご夫妻のもてなしにひかれた友人達から勧められ、4年前に開店しました。純日本家屋の落ち着いたたたずまいに、一雄さんが竹や荒木を削って創った作品の数々。そしてリピーター客が楽しみにしているのが季節の素材を使った食事、そば御前。季節ごとに変わるインテリアです。アンティーク家具に肇代さんの作品が展示され、お客さん達はそのアイデアとセンスに見とれています。

営業は毎週1回、月曜日の正午～午後5時。ご夫妻は「親戚の家に行ったようにゆっくりくつろいでいただければ嬉しいです」と、話されていました。

真冬の間は休業し、春の日差しに包まれる3月からまた営業を再開します。



山野草の咲く庭も見事です

後編集



今回うかがった自宅ショップは、どこも心が落ち着く居心地の良いところでした。人が好き、住んでいる町が好き、皆さんに共通した温かい思いがこちらにも伝わり、冬の寒さも吹き飛び、ひと足先に心は春になりました。

取材の日、店に来ていたお客さんが「皆に自慢したいけれど、内緒にもしておきたい隠れ家です」と一言ぼつり。私達も取材後、同じ気持ちになりました。【いながわ特派員】